

ス追跡型の主双対内点法アルゴリズムについて基礎理論とともに、最近提案された探索方向に基づくアルゴリズムについて解説されました。続いて著者の1人である信太が「単調相補性問題と内点法」について、主に探索方向に関して注目して説明しました。さらにこれも著者の1人である藤江が、矢島安敏氏(東工大)との共同研究「LPおよびSDP緩和を用いた2次計画問題に対する切除平面法」について、2次計画問題に対する緩和法と緩和を強化するためのカットに関する説明を行い、数値実験結果を示しました。最後に藤沢克樹氏(東工大)は「半正定値計画法と、安定集合問題や最大カット問題などのSDPを解く内点法を実装したソフトウェアSDPAの開発に関する説明と、安定集合問題や最大カット問題などのSDP緩和を実際に解いた結果を報告されました。

以上、簡単に研究集会の概要を説明してきましたが、説明が不十分に違いありません。もしこの分野に興味がある、もしくは興味を持った方は、まもなく発行さ

れる講究録を参考にされるとよいでしょう。最後に、公私共にお忙しい中、このようなすばらしい研究集会を、講演の依頼から発表当日の会場設定まで取りまとめていただいた室田氏と岩田氏に、心より感謝の意を表したいと思います。

## 会 合 記 録

8月1日(木) 表彰委員会

8名

### 会友訃報

**横山 保氏** (元副会長・フェロー, 前明星大学情報学部長) 平成8年7月30日, 循環不良のためご逝去されました。享年75歳。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 報文集価格表 (会員価格)

T-76-1	オペレーションズ・リサーチのためのデータとプログラムに関する研究	4,000円
T-77-2	環境アセスメントにおけるシステム分析手法に関する研究 —第一編：環境影響評価支援システムの検討— —第二編：空間に対する影響の評価に関する調査研究—	2,000円
T-77-3	環境アセスメントにおけるシステム分析手法に関する研究 —第三編：米国における環境アセスメントマニュアル事例調査—	2,400円
R-82-1	「欧州におけるOR実施状況」視察団報告書	1,200円
R-84-1	「米国におけるORの実践」視察団報告書	1,200円
英文別刷	A New Strategy for North-South Cooperation : Micro-electoris as a Catalyst	1,000円
R-88-1	「南米諸国とのOR交流視察団」報告書	1,200円
T-94-1	New Directions in Simulation for Manufacturing and Communications	6,000円
R-94-2	「ポルトガル・スペインとのOR交流視察団」報告書	1,000円
T-95-1	「巨大プロジェクトに関するOR」	3,500円